

「高知家いじめ予防等プログラム」作成の流れ

H30年度 H31年度4月~R1年度6月 7~10月 11~1月 2~3月 R2年度4月~

いじめ問題対策連絡協議会

第1回

第2回

第3回

1 プログラムのたたき台 2 子ども・学校・地域と連携し実践、作成 3 状況把握・分析 4 子ども・学校・地域と連携し、修正、改良 5 とりまとめ、公開 6 プログラムの周知と活用

第1章
いじめ問題の理解

- いじめの定義と構造
- 高知県のいじめの認知件数
- 高知県いじめ防止基本方針 など

第2章
教員・保護者・地域研修プログラム

【保護者用】
○いじめの定義について など

【地域用】
○いじめ問題に関する基本的な内容 など

【教員用】
○いじめの定義と構造の理解 など

第3章
いじめ予防等（学習）プログラム

☆個別学習プログラム

- 児童会・生徒会を通した予防的取組
- 各教科等を関連した普遍的な学習内容
- 地域との連携を通した取組

教員・保護者・地域の方に実施したプログラムの取組状況を踏まえ、内容を修正、追加する。

P T A や地域学校協働本部の地域の方々に研修プログラムを実施し、感想、助言をもらい、内容の修正・追加を行う。

プログラムを実施した教員から感想、助言をもらい、内容の修正・追加を行う。

大学の協力・助言をもとに、内容の修正・追加を行う。これまで取り組んできているいじめ防止につながる事業をプログラムに反映させる。

有識者や研究機関、実施に関わった協力者の意見を反映したプログラム案について幹事会で確認

教員・保護者・地域の方に実施したプログラムの取組状況を踏まえ、さらに修正、追加する。

P T A や地域学校協働本部の地域の方々にプログラムの取組状況や分析内容を報告し、感想・助言をもらい、さらに修正・追加を行う。

プログラムを実施した教員から感想、助言をもらい、内容の修正・追加を行う。

大学の協力・助言をもとに、内容の修正・追加を行う。これまで取り組んできているいじめ防止につながる事業をプログラムに反映させる。

幹事会でプログラム内容を確認

教員・保護者・地域の意見を反映しながらプログラムをさらに修正、追加しまとめていく。

P T A や地域学校協働本部の地域の方々の意見を反映しながらさらに修正・追加し、まとめていく。

プログラムを実施した教員からの意見を反映しながら、内容の修正・追加しまとめていく。

大学の協力・助言をもとに、内容の修正・追加を行う。これまでの取組をプログラムに反映し、修正、追加し、まとめていく。

幹事会でプログラム案や概要版を確認

プログラム及び概要版の完成・印刷

プログラム冊子を各学校に配布・ホームページに掲載

学校長会・生徒指導担当者会・指導事務担当者会等で活用促進の周知

年次研修や管理職研修等における活用

P T A 研修・民生委員研修会等における活用

予算編成

既存事業の中で活用

報告

報告

報告

反映

反映

反映

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

実践

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

確認

修正・追加

実践

修正・追加